

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（産業部会）

所 属	役 職	氏 名	令和 4 年度の 3 R に向けた活動状況	令和 5 年度の 3 R に向けた活動目標
山形県環境保全協議会	会 長	千 歳 毅	<p>1 コピー用紙、封筒使用枚数の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員へのイベント案内等はメールなどを活用し、コピー用紙の削減に努めました。 ・ オンライン会議、オンライン講演会を開催した際は、資料はPDFで配布し、コピー用紙の削減に努めました。 ・ 会員への郵送での案内は、なるべくまとめて発送し、封筒使用枚数の削減に努めました。 <p>2 「酒田港大浜海岸クリーンアップ活動」開催</p> <p>酒田港大浜海岸クリーンアップ活動を開催しました。その後、研修会を開催し「海の現状とごみ問題」について学びました。</p> <p>日時：令和 4 年 9 月 1 7 日（土）9 時 3 0 分～1 1 時 5 0 分 会場：酒田港大浜海岸（クリーンアップ活動） 酒田海洋センター講堂（研修会）</p> <p>人数：2 4 名 内容： スポ G O M I（クリーンアップ活動）約 5 4 k g ゴミを拾いました。</p> <p>研修会「海洋プラスチックごみ問題 ～町・川・海の繋がりにから未来を考えよう～」 N P O 法人パートナーシップオフィス 大谷明氏 連携先：N P O 法人パートナーシップオフィス 美しい山形・最上川フォーラム</p> <p>※ 別添資料①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙、封筒使用枚数の削減 ・ 「酒田港大浜海岸クリーンアップ活動」開催（調整中）

所 属	役 職	氏 名	令和4年度の3Rに向けた活動状況	令和5年度の3Rに向けた活動目標
一般社団法人 山形県産業資源循環協会	会 長	黒 澤 利 宏	<p>○第3次山形県循環型社会形成推進計画を推進するべく、最終処分場への廃棄物の搬入量を削減するため、リサイクル率向上などに向けた、県の3R研究開発事業費補助金制度や循環型産業施設整備補助金制度の活用を周知した。</p> <p>○「やまがた環境展」へ参画し、産業廃棄物に関する県民の理解を深めるため、会場ブースにワークショップ等の体験型企画を実施し、循環型社会の形成や脱炭素への取り組みを発信・啓発し環境に対する理解を深めた。</p> <p>「地球にやさしいハイブリッドパッカー車」の展示</p> <p>【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応で彩色するぬり絵づくり ・ 廃プラ等からの装飾づくり ・ 二酸化炭素の固定化実験 <p>○会食時3010運動の実施</p> <p>○不法投棄防止対策連絡協議会での啓発と原状回復作業に参画した。</p>	<p>○引き続き、第3次山形県循環型社会形成推進計画やカーボンニュートラルへの取り組みを推進するべく、リサイクル率向上などに向けた県の補助金制度の活用を周知する。</p> <p>○「やまがた環境展」へ参画し、産業廃棄物に関する県民の理解を深めるため、会場にワークショップを設置し、循環型社会の形成や脱炭素への取り組みを発信・啓発する。</p> <p>○不法投棄防止対策連絡協議会での啓発と原状回復作業に参画していく。</p>
山形県商工会議所連合会	常任理事	石 塚 昭 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議招集時の出欠確認をFAXからGoogleフォームに切換えてペーパーレス化を行った。 ・ 環境エネルギー問題をテーマに小学生作文・絵画コンクールを開催し、ごみ削減に向けた意識向上を図った。 ・ 温泉旅館や一般事業所で不要になったタオルを集めて雑巾として再利用するため、介護施設に贈呈した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の取組を引き続き実施する。
山形県JA女性組織協議会	会 長	大江うた子	<p>食品ロス削減に向けたフードドライブ活動に取り組み、自宅で余っているまだ食べられるけど捨ててしまう食品や、使わない日用品等の提供に協力しました。</p> <p>県内の各JA女性部が地域の社会福祉協議会等と連携し、地域に根ざした活動として取り組みました。</p> <p>また、このフードドライブ活動は平成29年から継続して取り組んでおり、今年度、ごみゼロやまがた推進県民会議が主催する「ごみゼロやまがた推進功労者表彰」にて我々の活動を表彰いただきました。誠にありがとうございます。</p>	<p>引き続き、フードドライブ活動に取り組んで参ります。</p> <p>令和5年度は、各JA女性部がそれぞれの地域の社会福祉協議会と連携して取り組むほか、本協議会の全体会議開催に合わせて実施する予定です。</p>
山形県電機商業組合	副理事長	川 口 正 男	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進を図った。 2 食事の伴う理事会及び役員会では、食品ロス削減を目指し推進。 3 組合事務局では、裏紙の利用とFAX用紙の出力削減。 4 地域電器店ではお客様へのレジ袋の使用を控えた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3 地域電器店でレジ袋の使用を控える 4 SDGsの推進

所 属	役 職	氏 名	令和4年度の3Rに向けた活動状況	令和5年度の3Rに向けた活動目標
やまがた女将会	副会長	工 藤 真 理	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減対策（食材の仕入れの管理の徹底を行い、食べ残しのないように年齢層に応じた料理の提供や、食材を無駄なく使用する工夫等に取り組んでいる） ○当館のバイキング会場において、食品ロス削減、食べきりのご協力をお客様にわかるようにポスターを掲示し、料理の出し方も個食盛りができるものに関しては盛り方を工夫し、削減を推進しました。 ○料理は食べきりサイズにしてお出しする。 ○卵パックの有効活用。 ○買い出し時のマイバック持参。 ○空ペットボトル回収 → キャップは中学校・高校の回収活動へ提供。 ○食べ残し、生ごみの水切り。 ○新聞紙・ダンボール・リネン類は中学校の資源回収へ。3010食事時間の推奨。 ○社内利用印刷物の裏紙利用。 ○シュレッダーゴミ、その他雑誌の再資源利用。（業者に依頼） ○山形県「もったいない山形協力店」のテイクアウトボックスに参加（食品ロス削減のため）。 ○食べきれよう、少なめに足りない方はお替りをしてもらう。 ○割りばしではなく、何度も使える箸にしている。 ○ランチョンマットは、紙製のものをやめ、布製にした。 ○食べ残しをコンポスト化 → 自社農園で野菜づくり → 料理として提供。 ○グループ全体で、食品ロス削減のため20年前からお料理の見直し。 ○食材の使い切り、在庫の徹底管理（棚卸） ○最低限の紙使用（ペーパーレス）。紙使用の最低ルールを決めて実行している。 ○スタッフのマイボトル持参。 ○アメニティ（プラスチック製のブラシ・ハブラシ等）をバイオプラスチック化へ ○客室セットではなく、最小限必要な分をコーナーを設けて提供する動きがみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もう少し分別してゴミを処理することに徹していきたい。 ○牛乳パック等のリサイクル ○食品発砲スチロールのリサイクル ○食品ロスを更に少なくするよう心掛けているが、ある程度はそれでも出てしまう。市場の休みが多くて連休はまとめ買いをしなければいけなくなり、その関係で野菜等はロスが出てしまう。市場は土日以外にも休みをとっており、大元から考えなくてはいろいろな面で無駄が出る。 ○アメニティグッズの脱プラスチック → バイオプラスチック化（自然素材のものを導入検討中） ○プラスチック備品の仕入れ・購入をできる限り減らしていく。 ○宿泊産業の兼ね合いでゴミのする量が多いので、限りなくゴミを出さない仕組み作りが必要。

所 属	役 職	氏 名	令和4年度の3Rに向けた活動状況	令和5年度の3Rに向けた活動目標
一般社団法人 山形県建設業協会	会 長	國 井 仁	<ul style="list-style-type: none"> ・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に基づき、コンクリート、アスファルト等の特定建設資材の分解解体や再資源化等の促進について、公共事業の発注者と連携し啓蒙活動に取り組んだ。 ・建設発生土の適正な処理を推進するため、工事発注時の流用先の設計図書への明示や、運搬・改良処理等に係る費用の計上などについて、公共事業発注者に対し適正な取組みを求める活動を行った。 ・協会支部団体の一部では、建設発生土を改良しリサイクルを促進する取組も進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、建設リサイクル法に基づく適正な処理を推進する活動を行う。 ・引き続き、建設発生土の適正な処理を推進する活動を行う。
山形県再生資源商工組合	事務局	庄 司 里 沙	<ul style="list-style-type: none"> ・懇親会については開催を見送ったため、食べきり運動の声掛けは特段行うことはなかった。 ・各事業所において、今後廃プラスチックの削減、出荷物の簡易包装も検討していくよう取り組みを行うべく検討中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に取り組んだ内容を継続。令和5年度は開催されるであろう懇親会時には適切な量の食事の注文及び食べきり運動の声掛けも再開予定です。 ・また、各事業所における廃棄物の削減対策もさらに強化の声掛けを行っていきます。
山形県環境整備事業協同組合	理事長	丹 野 善 将	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2. 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3. 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2. 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3. 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 4. 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	<p>食品衛生協会では、食品衛生責任者養成講習会を実施している。食品衛生責任者とは飲食業はじめ食品を扱う事業所に配置が義務付けられており、食中毒や食品衛生法違反を未然に防ぐために管理運営を行う者である。</p> <p>その食品衛生責任者講習会では、食品衛生関係法規、食品衛生学及び公衆衛生学について講義するが、公衆衛生学において、廃棄物処理の項目があり、その中で、廃棄物の管理などとともにゴミの減量化についても講義している。</p> <p>ちなみに、令和4年度は36回の実施を計画している。</p>	<p>令和5年度においても、引き続き、食品衛生責任者養成講習会において、ゴミの減量化について講義を行っていく。</p>

所 属	役 職	氏 名	令和4年度の3Rに向けた活動状況	令和5年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会女性部 連合会	会 長	原 田 周 子	①廃食油の回収と再利用 ②牛乳パックの回収と再利用 ③フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④エコキャップ回収運動 ⑤マイ箸持参運動 ⑥アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ゴミ袋削減運動 ⑧生ゴミ堆肥化運動 ⑨食品ロス削減運動 ⑩その他（普及啓発、環境教育など） ※ 各商工会女性部の実施状況について、別添資料②	各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく。
山形県工業会	会 長	松 村 英 一	本会においては、情報提供事業の一環として、当運動のチラシを 適宜会員に周知すると共に、本会事務所に掲示をして、情報発信並 びに活動推進を図っている。	引き続き、平成4年度と同様、活動を推進していく。
公益社団法人日本青年会 議所 東北地区 山形ブロック協議会	会 長	三 浦 真 守	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料の完全ペーパーレス化 ・ 食事の伴う事業・懇親会での食品ロス低減を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料の完全ペーパーレス化（予定） ・ 飲食を伴う会の食品ロス低減（予定） ・ 対外配布資料等のペーパーレス、PDF配布推進（予定）

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

所属団体名	山形県環境保全協議会
氏 名	会長 千歳 毅
<p>○令和4年度の3R（ごみ削減等）に向けた活動状況</p> <p>1 コピー用紙、封筒使用枚数の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員へのイベント案内等はメールなどを活用し、コピー用紙の削減に努めました。 ・オンライン会議、オンライン講演会を開催した際は、資料はPDFで配布し、コピー用紙の削減に努めました。 ・会員への郵送での案内は、なるべくまとめて発送し、封筒使用枚数の削減に努めました。 <p>2 「酒田港大浜海岸クリーンアップ活動」開催</p> <p>酒田港大浜海岸クリーンアップ活動を開催しました。その後、研修会を開催し「海の現状とごみ問題」について学びました。</p> <p>日時：令和4年9月17日（土）9時30分～11時50分</p> <p>会場：酒田港大浜海岸（クリーンアップ活動） 酒田海洋センター講堂（研修会）</p> <p>人数：24名</p> <p>内容：スポGOMI（クリーンアップ活動）約54kgゴミを拾いました。</p> <p>研修会 「海洋プラスチックごみ問題 ～町・川・海の繋がりから未来を考えよう～」 NPO法人パートナーシップオフィス 大谷 明 氏</p> <p>連携先：NPO法人パートナーシップオフィス 美しい山形・最上川フォーラム</p>	
  	

商工会女性部 “エコ活動” 実態調査報告書

【令和4年12月実施】

- 実施内容
- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①廃食油の回収と再利用 | ②牛乳パックの回収と再利用 |
| ③フリーマーケット・バザーの定期的な開催 | ④エコキャップ回収運動 |
| ⑤マイ箸持参運動 | ⑥アルミ缶・プルタブ回収運動 |
| ⑦ゴミ袋削減運動 | ⑧生ゴミ堆肥化運動 |
| ⑨食品ロス削減運動 | ⑩その他(普及啓発、環境教育など) |

No.	商工会名	内容	実施内容					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	上山市	1. 石鹸づくりによる廃食油の再利用 (H21年度より) 2. エコキャップを回収し社会福祉協議会へ毎年持参 (H24年度より) 3. EM活性液作り 南小プールへ投入 (H27年度より)	①	④	⑩			
2	寒河江市	1. エコキャップ回収運動。現在までの累計124,949個 (H21年度より)	④					
3	村山市							
4	東根市	1. 集会での30・10運動 (R3年度より) 2. 事業所の古雑誌を活用し、ちぎり絵で子供向けの紙芝居を作成。(R4年度より)	⑨	⑩				
5	尾花沢市	1. 部員よりアルミ缶を回収し、市内のNPO法人へ寄付 (R2年度より) 2. 部員よりタオルを回収し、市内の老人福祉施設に寄贈 (R2年度より)	⑥	⑩				
6	山辺町	1. 初市会場にてチャリティーバザーの開催 (H23年度より) 2. マイバック持参運動 (H20年度より)	③	⑦				
7	中山町	1. 買い物袋の代用として風呂敷活用事業を継続して推進 (H16年度より) 2. 県内外の団体や企業から依頼され、風呂敷活用講習会の講師として、エコ活動を広めている (H19年度より)	⑦	⑩				
8	河北町	1. 女性部エコバッグを全部員に配付 (R4年) 2. 河北町「ゼロカーボンかほく」宣言及び講演会へ参加。役員会で「ゼロカーボン」の概要や実現へ各自で実践できる取り組み等を共有	⑦	⑩				
9	西川町	1. エコキャップを部員より随時持参してもらう方法。	④					
10	朝日町	1. 部員よりタオルを回収し町内の老人福祉施設へ寄付。(H31年度より)	⑩					
11	大江町							
12	大石田町	1. 町の社会福祉協議会で行っているフードバンクへ寄附 (R4年) 2. 部員から不要な新品のタオルを収集し、町の福祉施設へ寄贈。(今年度は55枚寄贈)	⑨	⑩				
13	もがみ南部	1. 部員よりエコキャップを回収し、カローラ山形新庄店へ寄付。 2. 古いタオル、バスタオル、シーツ、タオルケット等を部員に呼びかけ回収、必要としている老人福祉施設に寄贈。(H24年度より) 3. エコキャップ回収とともにベルマーク収集。R4年12月に小学校へ寄付。(R2年度より)	④	⑩				
14	もがみ北部	1. 部員からエコキャップを回収し、地域団体へ寄付。年1回。(H27年度より) 2. 部員からアルミ缶を回収し地域業者へ売却。売上は福祉協議会へ寄付。年間100kg程度の回収。(H27年度より)	④	⑥				

- 実施内容
- ①廃食油の回収と再利用
 - ②牛乳パックの回収と再利用
 - ③フリーマーケット・バザーの定期的な開催
 - ④エコキャップ回収運動
 - ⑤マイ箸持参運動
 - ⑥アルミ缶・プルタブ回収運動
 - ⑦ゴミ袋削減運動
 - ⑧生ゴミ堆肥化運動
 - ⑨食品ロス削減運動
 - ⑩その他(普及啓発、環境教育など)

No.	商工会名	内容	実施内容					
15	南陽市	1. エコキャップ回収運動を行い、南陽市役所へ52.1kg寄託(H23年度より) 2. プルタブ3.1kgを回収し南陽市社会福祉協議会(南陽市ボランティア友の会)へ寄託。 3. 会議等で「3010」を部員へ呼びかけ、女性部だよりでPR(R1年度より) 4. フードドライブの実施。集まった食品(291点)は、やまがた福わたしさんへ寄付。R4年度2回延べ291点寄付(R3年度より) 5. 使用済切手(古切手)670g 南陽市社会福祉協議会(南陽市ボランティア友の会)へ寄託。	④	⑥	⑨	⑩		
16	高島町	1. 各家庭から出る生ごみをダンボールコンポストにて堆肥化(女性部の花いっぱい運動の花壇の肥料として使用する予定)(R4年度より) 2. エコドライブ教室開催(H22年)部員による継続的な実践活動(H22年度より)	⑧	⑩				
17	川西町	1. 縫製工場で出た余り布を用いて小物等を作り、女性部の売店で販売したり、部員のお誕生日プレゼントに利用している。(H20年度より) 2. アルミ缶・プルタブをそれぞれ家庭で収集し、学校等で回収する機会に協力。 3. 各々エコバック持参にて買い物。風呂敷講習を活かし、各自風呂敷を持ち歩きエコバックとして活用。 4. 各自コンポストを活用して生ごみの堆肥化に各々参加。 5. 懇親会時には、司会者より懇親の始めと終わりに料理を楽しむ時間を設けることを説明し「30・10運動」に協力。	③	⑥	⑦	⑧	⑨	
18	小国町	1. 部員よりタオルを回収し、町内の老人福祉施設へ寄付。	⑩					
19	白鷹町	1. マイ箸をイベント等へ持参する(H20年度より) 2. エコクッキング教室の開催。材料をムダにしない、効率のよい作業を行う。(H27年)	⑤	⑩				
20	飯豊町	1. 部員が各自エコバック持参やエコキャップ・プルタブ回収に協力している。	⑩					
21	庄内町	1. 商工会館にエコキャップ回収BOXを設置し通年運動。(H29年度より) 2. 商工会館にアルミ缶・プルタブ回収BOXを設置し、通年運動。(R3年度より) 3. 商工会報「アルザ通信」に女性部環境活動事業として活動報告を掲載し、商工会員事業所への普及啓発に努めている。	④	⑥	⑩			
22	出羽	1. 使用済切手を回収して、各種ボランティア団体に寄贈している。	⑩					
23	遊佐町	1. ペットボトルキャップ回収及び社会福祉協議会へ納入。(R4年度より)	④					
24	酒田ふれあい	1. エコキャップを回収し、酒田市内の小学校へ寄贈。(H24年度より)	④					